



財団法人柳田國男・松岡家  
顕彰会記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原 1038  
の12  
電話：0790-22-1000

### 特別展

## 松岡映丘画稿展 社寺・祭祀編

10月24日(土)～11月23日(月・祝)

記念館では柳田國男の末弟である松岡映丘の画稿展を記念館2階で開催します。一部本画も展示します。テーマは社寺、祭祀です。厳かな雰囲気を感じてください。

場所 柳田國男記念館 2階



「明治神宮舞楽図」

### 講師紹介

木村先生は甲南女子大学にお勤めです。そして美術史や博物館学の授業を受け持たれています。

### 木村重圭先生 講演会

平成21年度、記念館の講演会第4弾として木村重圭先生をお招きします。柳田國男の弟で日本画家の松岡映丘についてスライドを交えながら講演いただきます。

演題 「松岡映丘について」  
日時 11月8日(日) 午後2時～  
場所 柳田國男 生家

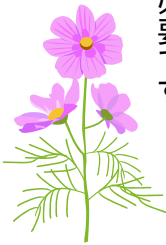


### 9月の生家の様子



講演会是要申込み

柳田國男記念館宛に氏名、住所、電話番号を電話でお伝えください (22 1000) 会員以外の方は入館料が必要です。



### くによはん覚書

秋になり、日没時間が早くなります。暗くなるのが早くなることを秋の日はつるべおとしといいます。柳田國男はツルベオトシという妖怪について著しています。



### ツルベオトシ

「釣瓶落とし又は釣瓶卸し」という怪物が道に出るとい話は、近畿、四国、九州にも分布して居る。井戸の拮抗というものが始めて用いられた当座、その突如たる運動に印象づけられた人々の、いい始めた名と思われる。

この妖怪も大木の梢などから出しぬけに下って来るといので怖れられたのである。或は大きな杉に鬼が住んで居て、下を人が通ると金の釣瓶ですくい上げたという話もある(愛知県傳説集)人をさらうためだけに金にも及ばなかったらう。何かこれには隠れた意味が有りそうである。」

(出典「柳田國男 妖怪名集」)

### 会員募集中!

財団法人柳田國男・松岡家顕彰会は、一昨年、会員制度を発足させました。入会者には会員証をお渡ししています。

法人会費 一〇〇〇〇円  
個人会費 一〇〇〇円



特典 記念館無料入館  
個人(本人+家族一名) 法人(一口・四名まで) もちむぎのやかた レストラン1割引他



ご利用案内  
【開館時間】 午前9時～ 午後4時30分

【休館日】 月曜日・祝日の翌日、12月28日、1月4日

【入館料】 大人2000円(団体割引は学生1500円 20名以上) 小人1000円